

# 第4次春日井市子ども読書活動推進計画 (骨子案)

## 目 次

第1章	計画の策定にあたって	1
1	計画策定の趣旨	1
2	計画の対象	1
3	計画の期間	1
第2章	読書活動の現状と課題	2
1	第3次計画の検証	2
2	子ども読書活動の現状と課題	2
第3章	第4次計画の基本方針	2
1	基本理念	2
2	基本目標	3
3	施策の体系	4
第4章	子ども読書活動推進のための施策	5
1	基本目標Ⅰ	5
2	基本目標Ⅱ	5
第5章	計画の推進	5
1	計画の周知	5
2	関係機関との連携・協働	5
3	計画の実施状況の点検・評価	5
第6章	資料編	5

# 第1章 計画の策定にあたって

---

## 1 計画策定の趣旨

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、思いやりのある豊かなところをはぐくむなど、人生をより有意義に生きる力を身に着けるうえで欠くことのできないものです。しかし、近年、パソコンやタブレット端末、スマートフォン等によるインターネットを介した通信手段が急速に普及するとともに、子どもたちの生活環境も変化、多様化し、読書時間が減少していく傾向にあります。

こうしたことから、国は、子どもの読書活動に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、読書を通じて子どもの健やかな成長に資することを目的に、「子どもの読書活動の推進に関する法律」を平成13年に制定し、同法第9条第2項で、市町村は子ども読書活動推進計画を策定するよう努めなければならないことと、規定されました。

本市では、平成18年3月に「春日井市子ども読書活動推進計画」、平成23年3月に「第2次計画」、平成28年3月に「第3次計画」を策定し、読書活動に関する取り組みを進めてきました。

この間、国においては平成30年4月に第四次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」、愛知県においては平成31年2月に「愛知県子供読書活動推進計画（第四次）」が策定されたことや、第3次計画の計画期間5年を経過することから、これまでの本市の取組の実績やアンケート調査による結果を踏まえ、更なる子どもの読書活動を推進していくため、第4次計画を策定します。

## 2 計画の対象

18歳以下を対象とします。

## 3 計画の期間

令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

## 第2章 読書活動の現状と課題

---

- 1 第3次計画の検証
- 2 子ども読書活動の現状と課題

## 第3章 第4次計画の基本方針

---

### 1 基本理念

乳幼児期に本を読んでもらった経験や、小中高校生時代に培った読書習慣は、その後の人生における読書活動の継続につながり、やがて子育て世代になったときに子どもへの読み聞かせにつながるなど、人生を豊かなものにするのはもちろんのこと、読書から育まれる豊かさを次の世代が受け継いでいく上で、非常に重要なものです。

子どもが本に親しみ、生涯にわたり読書活動を継続していくようになるには、家庭、地域、学校、市図書館の協働による、子どもたちへの読書環境づくりが欠かせません。

本は、子どもの日常生活の中で友だちのように身近な存在であり、心の成長において必要不可欠なものと考えます。子どもが本と出会い、読書を楽しむことによって、生きる力を付けてほしいという思いを込め、子どもが読書に親しむきっかけ作りや読書環境の整備を推進・充実することを目指し、次の基本理念を掲げます。

### 子どものころを育てる 本は人生のともだちだ！（案）

この基本理念を実現するために、第3次計画で目標とした子ども読書活動推進の取組を引き継ぐとともに、これまでの取組の中で見えてきた課題や、計画期間中の社会情勢の進展に伴う新しい課題、また、「愛知県子供読書活動推進計画（第四次）」の基本目標「家庭、地域、学校等における取組の充実」「子供読書活動推進支援の一層の充実」を踏まえ、2つの基本目標と7つの施策により、推進していきます。

## 2 基本目標

### I 家庭・地域・学校・市図書館における読書活動の推進

子どもの読書習慣は、日常的に本を読むことができる環境が整っていることで身につけることができるものです。

そのため、家庭・地域・学校・市図書館がそれぞれの役割を認識し、子どもが読書に親しむ機会の充実を図ることが必要です。

子どもの読書活動の意義や重要性について、市民一人ひとりが理解と関心を深め、子どもを取り巻く全ての関係者の理解と関心を高めるよう、普及啓発事業を積極的に進め、子どもの自主的な読書活動に向けた取組を推進します。

#### 目指す目標値

項目	内訳	現状値 (R 1)	目標値 (R 7)
不読率	小学生	12.3%	3.0%
	中学生	3.9%	3.0%
	高校生	45.5%	40.0%
児童書及び絵本の貸出冊数		574,493冊	630,000冊

### II 市図書館などの読書環境の整備・充実

子どもが自主的に本を読むようになるためには、発達段階に応じて本に親しむことができるような環境づくりを進めることが必要です。

乳幼児期から発達段階に応じて、子どもが興味を持ち感動する本に出会えるような、読書環境の整備・充実を進めます。

#### 目指す目標値

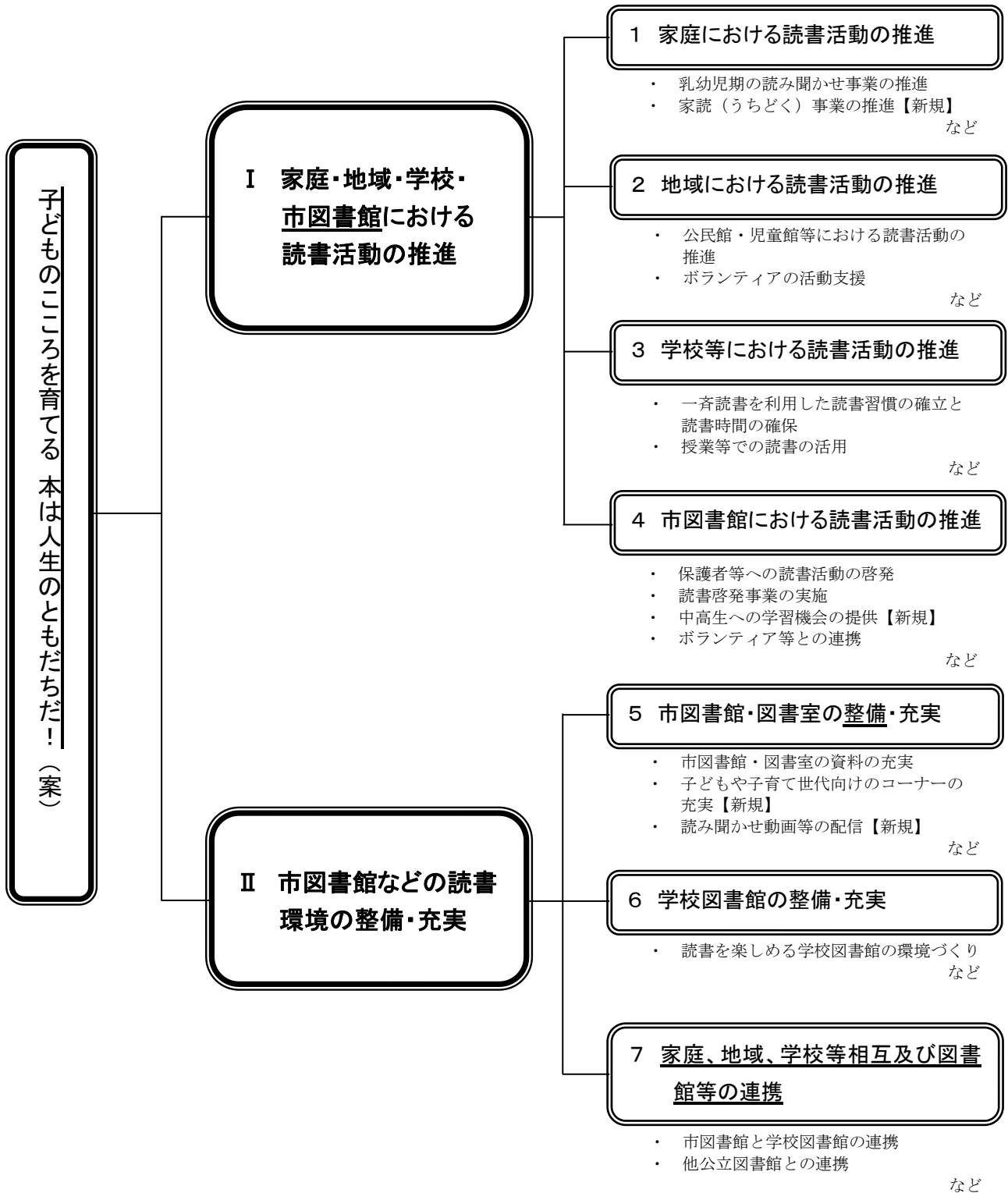
項目	現状値 (R 1)	目標値 (R 7)
読み継がれる絵本コーナー図書資料貸出数	0冊	2,400冊
調べ学習に関する支援	14件	20件

### 3 施策の体系

#### 基本理念

#### 基本目標

#### 施策



※下線部は前回計画からの変更箇所

## 第4章 子ども読書活動推進のための施策

---

---

1 基本目標Ⅰ

2 基本目標Ⅱ

## 第5章 計画の推進

---

---

1 計画の周知

2 関係機関との連携・協働

3 計画の実施状況の点検・評価

## 第6章 資料編

---

---